

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、養父市	地域再生計画名	響きあう心 世界へ拓く 結の郷 やぶ計画
計画期間	平成29年度～令和5年度	評価責任者	兵庫県農林水産部林務課長、養父市まち整備部建設課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数		達成 数				
	目標 1	転入者数の増加	489人	H27	529人	R1	447人		569人		R5		378人	△
	目標 2	雇用創出数の増加	147人	H27	173人	R1	109人	200人	R5	187人	△		3	1
	目標 3	素材生産量の増加	16, 011㎡	H27	22, 011㎡	R1	30, 106㎡	22, 011㎡	R5	28, 759㎡	○			目標値を達成している。
②事業の実施状況に関する客 観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況				
	指標 1	観光客入れ込み客数	1, 528千人	H27	1, 811千人	R1	1, 366千人	2, 000千人		R5	1, 133千人	-		令和2年度のコロナ禍により観光客の入れ込み数が激減したが、徐々に回復している。しかしながら、令和5年度については暖冬の影響によりスキー客が大幅に減少してしまい目標値の56. 7%の達成率にとどまった。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 （R1）	最終実績									
地域再生計画に記載がある 特別の措置を適用して行う 事業	市道整備事業（整備延長）		2, 000m	1, 350m	1, 500m	葛畑大久保線の舗装工事は令和3年度に完了している。朝倉高柳線については、地元調整等により事業進捗が遅れたことで計画期間内に完了できなかった。そのため引き続き新規計画に掲げ事業を実施する。								
	林道整備事業（整備延長）		1, 700m	288m	379m	令和2年度に法面崩壊等が発生しその対策工事が生じたため、開設工事の進捗が停滞している。そのため令和5年度末の進捗率は計画に対し22.3%にとどまっている。								
その他の事業														
計画外で独自に実施した事	養父市シティプロモーション事業		観光振興により、地域経済を活性化			養父市観光案内所を養父市観光協会に委託運営し、HPの運営など各種の誘客運営を実施した。令和5年度は訪日外国人への養父市認知度及び誘客のため英語版観光リーフレットを制作した。								
	定期観光タクシー事業		観光の移動費用及び時間短縮により、地域経済を活性化			市内観光や市内での宿泊を増加させるツールとして、特に土日祝日の2次交通として定額観光タクシーを実施している。令和5年度実績370人利用。								
	続・なにかと読めないまち事業		移住・定住の推進、あわせて市の認知度とイメージを向上			令和2年度より養父市シティプロモーション事業と一本化した。								
	企業誘致促進事業		企業誘致や既存企業の設備拡大等を推進し、雇用創出と経済を活性化			企業誘致フェアなどに赴き養父市への企業誘致のPRを行っている。実績としては令和3年度に市内の養鶏場跡地に誘致したウイスキー蒸留所が令和5年度に操業を開始した。								
	養父市U・Iターン 介護人材確保事業		Uターン等への助成により、介護サービス事業所の人材を確保			市内の介護事業者に就職するUターン・Iターン者及び新卒者に対し就職祝金や引っ越し費用の補助金を交付する。令和5年度はU・Iターン者1名、新卒者4名に交付した。								
	やぶの空き家活用支援事業		空き家の購入または賃貸、リフォーム等工事費用の一部を助成			移住者が空き家バンクに登録されている物件を購入・賃借し改修を行う際に上限1,500千円で補助を行う。令和5年度は2件（3,000千円）の実績。								
	特産物振興事業		特産物のブランド化、生産拡大とPRの実施により、地域活性化を推進			養父市の特産品を「養父市地域ブランド品」として認定し、販売促進を行っている。令和5年度は新たに4品を認定し、38件となった。								
	有機JAS認証拡大事業		農産物の有機JAS認定取得を維持・拡大のため認定及び継続費用を助成			R5年度は17人に補助金交付を行った。								
	担い手総合支援事業		営農組織、認定農業者、帰農者の育成支援により、多様な担い手を確保			令和5年度は従来の支援および台風被害を受けた農業施設等の復旧費用の支援も行った。								
④評価方法		地域再生計画評価委員会を開催し、目標値の実現状況について評価、検討を行った。												
⑤事後評価の公表方法		兵庫県・養父市のホームページに掲載												
⑥計画全体の総合評価		本地域再生計画では道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間の交通ネットワークを強化することで、「若い世代のU・I・J」ターン促進」「地域資源の活用と伝統産業のイノベーション」「多様な起業・創業の促進」「起業や人が訪れやすい基盤づくり」により、転入者および雇用創出数の増加を目的としている。市道整備については一部繰越が生じたため完成年度が遅れてしまった。また、林道整備については法面崩壊の影響で予定分の開設工事ができず、大きく遅延している。それらの影響やその他の要因も重なって目標1及び2が達成できなかった。												
⑦今後の方針等		目標 1については目標値に対し大きく下回っており、今後も達成が困難と判断した。そのため新計画では観光客入れ込み数を目標の指標とした。目標 2については今後の取り組み次第で目標の達成が見込まれると判断したため新計画についても引き続き「雇用の創出数」を設定した。一方では、目標の達成およびさらなる増を図るため、その他の事業についても検討を行い効果的な展開を図って行くものである。												